

# News Letter

## 食道癌について

外科医師 秋森豊一

食道癌は胃癌や大腸癌のようにポピュラーな病気ではなく、マイナーな病気でした。

しかし、最近、芸能人や著名な方がこの病気になって、新聞、週刊誌を賑わせてくれたおかげで、外来で、あの人が罹った病気という風に説明ができるようになり話易くなりました。

食道癌に罹る人は人口10万人当たり約16〜17人で高知県では年間約100人に食道癌が見つかっています。原因は外的因子、特にアルコール、タバコといわれていますが酒飲みが多い高知県内で罹る人が多いとも限りません。また、男性が女性の5倍以上の率で高いのも特徴です。

年間100人近くの食道癌の患者さんは皆が手術をするわけではありません。



非常に早い段階で見つかった方

は内視鏡（胃カメラ）で癌の部分を削いで治療が完結します。非常にラッキーな方です。

といってもこの段階で見つかる方はごく少数で、検診や、他の病気でたまたま胃カメラをやって見つけた方で、ほとんどの患者さんは何らかの症状（食事がつかえて、体重が減った等）で受診、精密検査で見えされるパターンです。こうなると治療は手術、放射線、抗癌剤の治療になります。

手術療法は、根治性は高くなりますが食道のある部分の特性から他の消化器癌の手術と比較してずば抜けて大きな手術になります（手術する部位が首、胸、お腹の3箇所）に及ぶために手術時間も8〜10時間ほどかかり、合併症、手術関連死亡も多い。実際、高知県で手術治療を受けられる方は年間約60人ほどです。



それ以外の方は病気の進行状況で根治手術ができない、または全身状態（耐術性）の問題や、手術を希望されない等で、手術以外の治療を受けられていると思います。

日本人の食道癌のほとんどが扁平上皮癌という細胞で皮膚癌と同じ種類になり、胃癌、大腸癌よりも放射線が有効であり、大きな手術のできない方には放射線療法を中心とした化学・放射線療法を行うこともあります。

しかし放射線療法で再発した場合前回効いたからといってもう一回放射線を使うことはできないのです。

同一部位での放射線の対応量が決まっていることから、組織障害が出るために使用できないのです。そうなると、手術的に切除と考えられますが、これにも大きな問題があって、照射後手術は手術する部分が硬く、また血流も乏しくなっていることから、通常の食道手術より5倍近く合併症の起こる頻度が高くなります。

手術を受けられるのなら放射線治療の前に受けられるほうが良いと思います。また抗癌剤治療は、入院での治療が中心となり、月に10日から2週間入院して治療を受け、次の治療まで自宅療養、これを可能な限り行なうことになりま

す。抗癌剤は全身に行きわたるのでどこに癌があっても治療は可能です。

すがある程度の回数で癌細胞が無くならなければ、使っている抗癌剤に抵抗性のある細胞が残り抗癌剤が効かなくなり、薬を変える必要がありますが食道癌に使える抗癌剤の種類も限りがあり治療が出来なくなることもあります。

また抗癌剤は継続できなければ効果が望めないで、副作用が強く、中止または減量せざるを得なくなると本来の治療効果は望めなくなります。話を手術にもどして、手術は大きなストレス（侵襲）のあるものとお話しましたが、最近では体腔鏡（腹腔鏡、胸腔鏡）の使用で10数年前とは体に与えるストレスは減少し、以前であれば80歳近くの方の手術はとも考えられなかった食道癌の手術が、可能になりました。

高齢化社会で癌の患者さんもふえ、手術で根治できる食道癌の高齢の方も増加しています。食道癌といわれても諦めずに医師に相談して、患者さんに最もあった治療を行ないましょう。



## 認定看護師のご紹介

緩和ケア認定看護師

大家 千晶



私は2007年から緩和ケア支援室で専従看護師として勤務しています。できるだけ患者さんの苦痛が和らぐよう、主治医や各専門の職種と協力しあい、看護を行っているです。その方に合った方法を見つけながら、その人らしさを尊重し、より良い生活ができるようお手伝いさせていただきます。

緩和ケア認定看護師

大石 真知



がんと診断された早期より、患者様・ご家族をサポートしながら全人的苦痛に対応していきます。また、医療チームと連携を図り“目と手に心を添えて”患者様・ご家族に寄り添う看護を提供できるように努力していきたいと思えます。

## やさしい食生活

栄養科

### 旬の食材を上手に取り入れよう

過ぎぬやすい季節がやってきました。夏の猛暑で疲れた身体を秋の旬の食材で回復させ、夏に控えていた散歩や運動を始めてみましょう。旬の食材はビタミン・ミネラルが豊富に含まれ

ており、身体にとっていいこといっぱい。そんな秋の食材についてご紹介します。

◆**きのこ**  
免疫機能を高めてくれるβ-グルテンを含みます。悪玉コレステロールを減らしてくれる食物繊維を含みます。

◆**かつお**  
戻り鰹ともいわれ脂がのっています。貧血予防に有効なビタミンB12・鉄分が豊富です。

◆**さば、さんま**  
動脈硬化・高血圧の予防効果のある、DHA・EPAを豊富に含みます。

◆**なし**  
水分、果糖、リンゴ酸、クエン酸、アスパラギン酸などが豊富であり疲労回復に効果があります。

◆**ぶどう**  
老化促進因子を無効にする抗酸化力をもつ、ポリフェノールが豊富です。

◆**銀杏**  
記憶力や集中力を高めてくれる効果が期待されているレシチンが豊富です。また、悪玉コレステロールを溶かし、動脈硬化を防ぎます。



年中出回る食材であっても旬・季節によって含まれる栄養素の量は変化してきます。とはいえ、偏った食品を選んでしまうと偏った栄養素しか摂れず体調を崩しかねません。秋の食材は食物繊維が豊富であったり、脂がのっていたり比較的消化の遅いものが多いため、食べ過ぎ、早食いには気を付けましょう。様々な食材を使用し栄養素を偏りなくとることで免疫・代謝をあげることが出来ます。

今回は食事の質やバランスについてお話ししましたが、身体の健康を保つためには規則正しい食生活や生活リズム、適度な運動も大切です。



### 糖尿病教室のご案内

興味のある方はお気軽に、皆さんお誘いあわせのうえ是非ご参加ください。  
(定員20名)

#### 【第一回】

平成25年10月6日(日)

13時～14時30分

①「糖尿病の基礎知識」

内科医師 岡村 浩司

②「糖尿病患者のフットケア

(足のお手入れ)」

「あなたのお足、大丈夫？」

糖尿病療養指導士

田中 千明

#### 【第二回】

平成25年10月27日(日)

13時～14時30分

①「糖尿病の薬について」

「あなたの飲んでいるサプリ、ほんとに大丈夫？」

薬剤師

宮村 憲明

②「食べすぎ注意の炭水化物。

ご飯、パン、麺類の違いは？」

管理栄養士

井上 那奈

#### 【第三回】

平成25年11月10日(日)

13時～14時30分

①「シックデイって何？こんな時あなたはどうする？」

糖尿病療養指導士

和田 望

②「実際に血糖値を測ってみよう」

臨床検査技師 野町 真由

川窪 美乃莉

会場：幡多けんみん病院

3階 中会議室

【参加申込み・問い合わせ先】

TEL:

0880・66・2222

担当：内科外来看護師

新見

### 内科・消化器科外来より

平成25年9月9日より左記のとおり内科と消化器科の受付時間が変更となりました。

ご理解を頂きますようお願い致します。

### 内科・消化器科の受付時間の変更 (H25年9月9日～)

変更前	午前8:30～11:30
変更後	午前8:30～ <u>11:00</u>

\*消化器科

火曜日は検査のみ(予約)となっております。

### 耳鼻咽喉科外来より

平成25年10月1日から耳鼻咽喉科の常勤医が不在となります。今後は高知大からの応援医師により外来診療を行いますので、ご理解をお願い致します。

### 耳鼻咽喉科外来の診療体制の変更

	月	火	水	木	金
午前	高知大医師		高知大医師		高知大医師
午後					

【受付時間】月・水・金 AM8:30～11:00

\*10月18日は医師不在のため休診日となります。

## 病院の理念

1. 幡多けんみん病院は幡多地域における医療の中核となる病院として、地域の他の医療機関や保健・福祉・介護施設などとの連携のもとに、地域で完結できる、良質な医療の提供を目指します。
2. 地方公営企業として、地域医療をとおして地域の福祉の増進を目指しながら、企業としての経済性を発揮する運営をおこないます。

医療機関を受診される際は、**お薬の内容が分かるもの**（**薬剤情報提供書・お薬手帳など**）を持って行くようにしましょう！

## 私たちの目指す医療（基本針）

1. 正確で間違いのない医療
2. 十分に説明をする医療
3. 透明性を大切にする医療
4. 患者さんの希望を大切にする医療。

## 第16回 幡多ふれあい 医療公開講座

日時：平成25年10月6日（日）

13時開場、13時半開始

場所：大方あかつき館

レクチャーホール

（幡多郡黒潮町入野）

内容：

「し存知ですか？」

ロコモと骨粗しょう症

① 「骨粗しょう症の予防・治療」

幡多けんみん病院

整形外科医長 佐竹 哲典

② 「寝たきり予防は

ロコモ体操から」

幡多けんみん病院

整形外科医長 北岡 謙一



（参加費）

無料  
どなたでも参加できます。

（主催）

幡多けんみん病院

（後援）

四万十市、宿毛市、大月町、土佐清水市、黒潮町、三原村、幡多福祉保健所、幡多医師会

皆様ふるってご参加ください。



問い合わせ先：

＊幡多けんみん病院

（経営企画課）

TEL) 0880-66-2222

＊各市町村担当部署

## 8月の統計

外来患者数	11,469人
新外来患者数	1,886人
新入院患者数	499人
退院患者数	523人
平均在院日数	15日
救急車・時間外患者数	1,182人
手術件数	186件

## 幡多けんみん病院における患者さんの権利

1. 患者さんは、良質な医療を平等に受ける権利を持っている。
2. 患者さんは、医療を受けるにあたり、十分な説明を受ける権利を持っている。
3. 患者さんは、プライバシーが守られることを期待する権利を持っている。
4. 患者さんは、自分の希望を伝え、医療に参加する権利を持っている。
5. 患者さんは、人間としての尊厳が守られることを期待する権利を持っている。